

ToO 観測指示書 (20B-K-0011)

- トリガーをかける際、PI または Co-I によって、対象天体の座標、等級、グリズム、積分時間、ToO 優先度 (A or B)、標準星、トータルの観測時間を指示する。この時、ターゲットの finding chart も一緒に添付する
- 最初の観測を行った後、1~3 日おきに同じ観測を指示する場合がある。その際、最初の観測を ToO 優先度 A で行い、次の観測からは ToO 優先度 B で行うことが多い。

(デフォルトの観測手順)

1. フォーカスを合わせる
2. 観測天体を導入 (イメージローテータはなし)
3. グリズムを VPH-blue にセット。(プロポーザルには VPH-495 と書いてしまったが、実際に観測してみた結果 VPH-blue の方が良いことが判明した)
4. 指定の積分時間で 3 枚ずつのターゲットフレームを撮る (積分時間は $S/N > 50$ を目安に指定する予定)
5. グリズムを VPH-red or VPH-683 に変更
6. 指定の積分時間で 3 枚ずつのターゲットフレームを撮る

7. 各グリズムについて、標準星フレームを3枚撮る

8. (観測前 or 終了後) ターゲットに対して実施したセットアップでの Comparison

ランプ・ドームフラットを撮る

(ToO トリガーをかける可能性がある人の連絡先)

木邑 真理子 @理研 : mariko.kimura@riken.jp

野上 大作 @京大 : nogami@kusastro.kyoto-u.ac.jp

磯貝 桂介 @岡山 : isogai@kusastro.kyoto-u.ac.jp

前原 裕之 @岡山 : hiroyuki.maehara@nao.ac.jp